

オプトアウト文書（患者様へ）

西暦 2026 年 9 月 12 日

「病棟業務負荷指数および標準化スコアと看護職員の時間外勤務・離職との関連に関する後ろ向き観察研究」の対象となられる患者様および保護者の方へ（臨床研究に関する情報）

三重中央医療センターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究の実施にあたっては、当院倫理審査委員会の承認を経て、病院長より許可を受け、倫理指針および法令を遵守して実施します。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の相談窓口までお願いします。

[研究課題名]

病棟業務負荷指数および標準化スコアと看護職員の時間外勤務・離職との関連に関する後ろ向き観察研究

[研究機関名・長の氏名] 三重中央医療センター院長 下村 誠

[研究責任者所属・氏名] 三重中央医療センター 循環器内科 新谷 卓也

[研究の目的]

当院では 2025 年 11 月に病床管理コマンドセンターを開設し、入院される病棟を決める際の参考として、病棟ごとの忙しさを数値で表すようにシステム化しています。この数値は、病棟に入院されている患者さんの人数、身のまわりの介助がどの程度必要か、入退院の件数、勤務している看護師の人数などをもとに計算しています。

しかし、この数値が実際の忙しさをどれだけ正しく表しているかは、まだ確かめられていません。数値が実態と合っていない場合、忙しい病棟に入院が重なってしまうおそれがあります。

そこで、この研究では、この数値と看護師の時間外勤務時間や退職の状況とを比べることで、数値の正しさを確かめます。その結果をもとに計算方法を見直し、入院される病棟をより適切に決められるようにすることを目的としています。

[研究の方法]

1. 対象

2025 年 5 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日までの間に、当院の病棟に入院された患者様、および、同じ期間に当院の病棟に勤務した看護職員。

この研究では、患者さんお一人おひとりを調べるのではなく、病棟ごと・月ごとにまとめた数値のみを用います。

2. 利用、又は提供する試料・情報の項目

診療記録（電子カルテ）より、次の情報を利用します。

- ・ 看護必要度の評価結果（寝返り、移乗、口腔ケア、食事、着衣、意思疎通、危険行動の 7 項目について、介助がどの程度必要かを評価したもの）
- ・ 病棟ごとの在院患者数、重症者数、入院・退院の件数
- ・ 看護師の病棟ごと・月ごとの勤務状況

※ 血液や組織などの試料は使用しません。また、取得した情報を他の機関に提供することはありません。

3. 実施時期

病院長による許可日より開始します。

研究開始予定日 2026 年 10 月 1 日から

4. 研究期間

研究を行う期間は、許可日より 2028 年 3 月 31 日まで

5. 共同研究機関の名称および研究責任者の氏名

共同研究機関はありません。当院のみで実施します。

6. 個人情報の管理について

研究対象者の方に情報を公開し、研究参加の拒否、撤回ができるようにしています。

また、個人情報漏洩を防ぐため、本研究では個人を特定できる情報を削除し、データの集計化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。さらに、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

具体的には、看護必要度の評価結果は、インターネットにつながっていない電子カルテ用の端末の中で、お名前や患者番号などを削除したうえで、病棟ごと・日ごとの合計値に変換します。削除した情報ともとの記録とを結びつける表は作成しません。端末の外へ持ち出すのは、病棟ごとにまとめた数値のみです。

7. 研究参加を拒否される場合の取扱いについて

この研究への情報利用を希望されない場合は、以下の相談窓口までお申し出ください。書面、電話、口頭のいずれでも構いません。

すでに数値化されている情報は、お名前や患者番号を削除したうえで病棟ごとの合計値に変換しており、元の記録と結びつける表を作成しておりません。このため、お申し出をいただいた時点ですでに集計に含まれている情報から、お一人分だけを取り除くことはできません。

2026年10月以降のお申し出に関しては、それ以降に取得する情報がお申し出をされた方に関するものとして研究に用いられないようにいたします。

研究に協力されない場合でも、診療上の不利益は一切ございません。

8. 医学・看護学上の貢献

本研究により対象者となった方が直接受けることができる利益はありませんが、研究成果は将来、病棟ごとの忙しさをより正確に把握することに繋がり、入院される病棟をより適切に決めることや、看護職員の負担を病棟間で均すことに貢献できる可能性が高いと考えます。

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の研究対象者となった方の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する個人情報に関しては、お名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も研究対象者となった方を特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

〒514-1101 三重県津市久居明神町 2158-5

三重中央医療センター 循環器内科 部長 新谷 卓也

TEL: 059-259-1211 (代 表)

オプトアウト文書（看護職員へ）

西暦 2026 年 9 月 12 日

「病棟業務負荷指数および標準化スコアと看護職員の時間外勤務・離職との関連に関する後ろ向き観察研究」の対象となられる看護職員および保護者の方へ（臨床研究に関する情報）

三重中央医療センターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究の実施にあたっては、当院倫理審査委員会の承認を経て、病院長より許可を受け、倫理指針および法令を遵守して実施します。
この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の相談窓口までお願いします。

〔研究課題名〕

病棟業務負荷指数および標準化スコアと看護職員の時間外勤務・離職との関連に関する後ろ向き観察研究

〔研究機関名・長の氏名〕 三重中央医療センター 院長 下村 誠

〔研究責任者所属・氏名〕 三重中央医療センター 循環器内科 新谷 卓也

〔研究の目的〕

当院では 2025 年 11 月に病床管理コマンドセンターを開設し、入院される病棟を決める際の参考として、病棟ごとの忙しさを数値で表すようにシステム化しています。この数値は、病棟に入院されている患者さんの人数、身のまわりの介助がどの程度必要か、入退院の件数、勤務している看護師の人数などをもとに計算しています。

しかし、この数値が実際の忙しさをどれだけ正しく表しているかは、まだ確かめられていません。数値が実態と合っていない場合、忙しい病棟に人員配置が追いつかず、時間外勤務が特定の病棟に偏るおそれがあります。

そこでこの研究では、この数値と、時間外勤務時間や退職の状況とを比べることで、数値の正しさを確かめます。その結果をもとに計算方法を見直し、病棟間の業務負担をより適切に平準化できるようにすることを目的としています。

〔研究の方法〕

1. 対象

2025 年 5 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日までの間に、当院の対象病棟に勤務した看護職員。

この研究では、看護職員お一人おひとりを調べるのではなく、病棟ごと・月ごとにまとめた数値のみを用います。あわせて、同じ期間に対象病棟に入院された患者さんの診療情報も、病棟ごとにまとめた数値として用います。

2. 利用、又は提供する試料・情報の項目

人事・給与に関する記録より、次の情報を利用します。

- ・ 病棟ごと・月ごとの時間外勤務時間の合計
- ・ 病棟ごと・月ごとの退職者数
- ・ 病棟ごと・月ごとの在籍者数

※これらは、事務部門が病棟ごと・月ごとにまとめた数値のみを研究者が受け取ります。研究者が職員お一人おひとりの勤務記録や退職の記録を見ることはありません。

診療記録（電子カルテ）からは、次の情報を利用します。

- ・ 看護必要度の評価結果（寝返り、移乗、口腔ケア、食事、着衣、意思疎通、危険行動の 7 項目について、介助がどの程度必要かを評価したもの）
- ・ 病棟ごとの在院患者数、重症者数、入院・退院の件数

※ 血液や組織などの試料は使用しません。また、取得した情報を他の機関に提供することはありません。

3. 実施時期

病院長による許可日より開始します。

研究開始予定日 2026 年 10 月 1 日

4. 研究期間

研究を行う期間は、許可日より 2028 年 3 月 31 日まで

5. 共同研究機関の名称および研究責任者の氏名

共同研究機関はありません。当院のみで実施します。

6. 個人情報の管理について

研究対象者の方に情報を公開し、研究参加の拒否、撤回ができるようにしています。

また、個人情報漏洩を防ぐため、本研究では個人を特定できる情報を削除し、データの集計化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。さらに、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、職員を特定できる情報は一切含まれません。

病棟ごと・月ごとの退職者数については、病棟によっては人数が少なく、公表の仕方によっては個人が推測される可能性があります。このため、学会や論文で発表する際には病棟名を伏せ、月ごとではなく四半期ごとまたは年ごとの数値として示します。

7. 研究参加を拒否される場合の取扱いについて

この研究への情報利用を希望されない場合は、以下の相談窓口までお申し出ください。書面、電話、口頭のいずれでも構いません。

病棟ごとの合計値に変換されている既存の情報に関しては、元の記録と結びつける表を作成しておりません。このため、お申し出をいただいた時点で、すでに集計に含まれている情報については、お一人分だけを取り除くことはできません。

2026 年 10 月以降のお申し出に関して、それ以降に取得する情報は、研究に用いられないようにいたします。

なお、研究に協力されない場合も、人事評価や処遇における不利益は一切ございません。

8. 医学・看護学上の貢献

本研究により対象となった方が直接受けることができる利益はありませんが、研究成果は将来、病棟ごとの忙しさをより正確に把握することに繋がり、病棟間で業務負担を均し、人員配置をより適切に行うことに貢献できる可能性が高いと考えます。

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の研究対象者となった方の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する個人情報に関しては、お名前など、個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も研究対象者となった方を特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

〒514-1101 三重県津市久居明神町 2158-5

三重中央医療センター 循環器内科 部長 新谷 卓也

TEL: 059-259-1211 (代表)